

津波対策を強化!!

「津波避難ビル」に

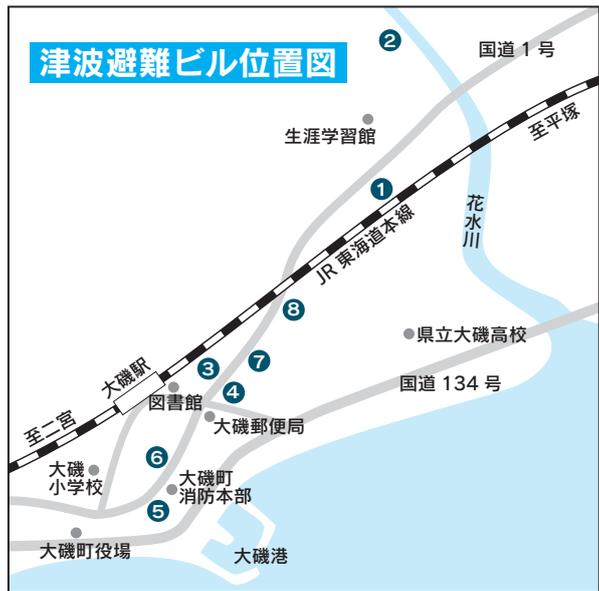
8か所を指定!!

「今後は、西部地区をはじめ、町内全域に広げます」

町では、町民が津波からの避難に時間的余裕が無い場合に、一時的に身を守るための緊急避難場所として利用できるようなビル所有者等のご理解とご協力により、東部地区の8か所のビルを「津波避難ビル」に指定しました。

今後、皆さんのご協力をいただきながら、西部地区をはじめとして、一定の構造的要件を満たした建物を、緊急避難場所「津波避難ビル」として指定する取り組みを進めていきます。

なお、「津波避難ビル」の指定に関する詳細は町ホームページをご覧ください。



津波避難ビル一覧

避難ビル名	所在地	使用場所
①モンメル大磯	高麗一丁目3番18号	3、4、5階廊下
②戸塚ビル	高麗二丁目22番27号	5階廊下
③吉川ビル	大磯962番地	3階建て屋上
④片野ビル	大磯971番地	3階建て屋上
⑤大内館	大磯1083番地1	3階建て屋上
⑥中南信用金庫本店	大磯1133番地1	5階建て屋上
⑦プレステージ大磯	大磯1852番地2	3階建て屋上
⑧諸橋ビル	大磯2178番地17	3階建て屋上

◎問い合わせ 危機管理対策室 ☎内線 244

町内の環境放射線量測定調査結果

町では、町内の学校、公共施設、公園、広場等の環境放射線量の簡易測定を実施しています。国では8月に学校での線量の目安を毎時1μSv未満としましたが、調査の結果はいずれも国の基準値以下でした。

なお、大磯・国府小学校を測定ポイントとして引き続き週1回測定を実施していきます。

◎問い合わせ 危機管理対策室 ☎内線 241

町内の環境放射線測定調査結果

(平成23年8月31日、天気：くもり)

測定場所	線量
大磯小学校	0.06 μSv/h
国府小学校	0.04 μSv/h
障害福祉センター	0.09 μSv/h
岩田記念室内競技場	0.05 μSv/h

・県のモニタリングポストでの放射線測定とは測定方法等が異なります。
・測定結果は、町ホームページから確認できます。

過去の災害による町の被害 ③

大正6年(1917)の高潮による被害

先月の広報おおいそ9月号で紹介したとおり、町内では関東大震災による津波被害はほとんどありませんでした。しかし、関東大震災が起こる6年前、町は台風による高潮の被害を受けています。

この高潮は、大正6年(1917)10月1日に起こりました。前日から町域は台風の影響による大雨となり、翌日の昼頃に高潮が発生しました。高潮の高さは約15mで、護岸堤が約360m決壊、流出した個人所有の土

地は約500坪、全壊家屋38戸、半壊・破損家屋38戸、物置・納屋等の流失20棟、流失・破損船74艘、床上浸水55戸、床下浸水98戸の被害を出しました。この被害による死傷者数は、死者2名、負傷者27名でした。

当時の町の助役は、この高潮について、「1時より大暴風雨稀有の怒涛にて大磯被害甚大なり。北下町浸水家屋98戸、南下町100戸、計198戸」と日誌に記しています。このことから、被害の中心は、北下町と南下町であったことがわかります。(浸水家屋数については、10月1日当日の記述のため、先

◎問い合わせ 郷土資料館 ☎(61)4700

